

メッセージ題「顔と顔を合わせて」 <先週の講壇より>

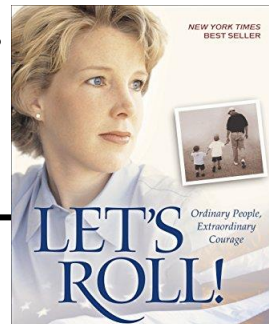
「モーセのような預言者は、もう再びイスラエルには起こらなかった。彼は、主が顔と顔を合わせて選び出したのであった。」申命記34:10【新改訳2017】

先週は9/11、あのテロ事件は決して忘れることは出来ません。当時私はサンフランシスコの教会を牧会しており、テロによってハイジャックされた一機はサンフランシスコ行きだったということもあって、大変な厳戒態勢となったことを思い起こします。

そのサンフランシスコ行きだった飛行機は、勇敢な乗客数名がテロリストと機内で戦い、結果的には墜落してしまいましたが、それでもテロの目的であったホワイトハウスへの追突は避けることが出来ました。その勇敢な乗客の中の一人が、トッド・ピーマーというクリスチャン男性。彼はテロに気づき、周囲の男性たちと共にテロ阻止のために戦いました。その直前、彼は当時身重だった夫人にはあえて連絡せず、電話交換手と会話し、事態を伝え、そして共に「主の祈り」をしたそうです。その後、「レッツ・ロール!(さあ行くぞ!)」と言って、立ち向かっていったということです。奥様のリサさんは著書の中で、「彼は神のみもと、天国という場所で確かに生きていくことを確信した」と記しています。

モーセは永遠の御国を仰ぎ見つつ、その生涯を全うしました。まさに天への凱旋でありました。永遠の国、天国を仰ぎ見る、見据える生き方は、何と幸いなのでしょう。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022年9月18日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。
将来と希望を
与えるものである。」

エレミヤ29:11

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

